

今、わたしに  
できること。

献血への  
ご協力をお願いします。

日本赤十字社 東京都赤十字血液センター  
Japanese Red Cross Society



学内献血のお知らせ

5月17(水)  
18(木)

10:00~11:00/12:30~16:30

《受付場所》  
C棟南側広場

献血ご協力者には…下記プレゼント

特典その①

ワイヤレスイヤホン♪



特典その②

3人1組で協力すると…

ジュース **1**ダース



1人増えるごとに4本追加!!

# 皆様に知っていただきたいこと：献血はなぜ必要？

血液は、  
長期保存ができない



赤血球28日間

血小板4日間

血液は、人工的に  
造ることができない



1年間に献血出来る  
回数が決まっている



例えば…  
400mL献血  
男性は年3回  
女性は年2回

毎日、約3千人の患者様が  
輸血を受けている



## 日々、血液を必要としています！

輸血も献血も、決して他人ごとではないのです。

“**輸血**を受けて元気になった。

**献血ありがとう**

の声を届けたい”



森下理奈さん

長年、持病の治療で入退院を繰り返していた私はある日、貧血が酷くなってしまい輸血を受けました。

滴下筒にゆっくりと落ちていく血液を見ながら、「どんな人の血なんだろう?」「どんな思いで献血してくれたんだろう?」などと、好奇心旺盛な子どものように色々と考えていたのを鮮明に覚えています。それと同時に、「人は一人では生きていけないってこういうことなんだ!」と改めて実感し、感謝で胸がいっぱいになりました。また、体だけでなく心も元気になり、輸血の威力の偉大さに感銘を受けました。

現在も定期的な通院は続いているのですが、大学院へ通えるまでに回復し、医学系研究科で免疫学の研究をしています。家族でもなければ面識すらない方の献血によって救っていただいたこの命で、ささやかながら医学の分野に貢献できればと思っています。よく、献血者が少ない、輸血が不足している、ということを目にする方もいるかもしれませんが、コロナ禍の今日ではそれらが更に深刻化しています。

医学は日々進歩し続けています。しかしながら現段階では血液を人工的に造る技術は実用化されておらず、健康な方からの『献血』で血液を分けていただくしか方法がないのです。

献血は不要不急の外出ではありません。健康な方のお力が必要不可欠ですので、献血のご協力をよろしくお願いいたします。そして私の血液の一部になって下さった方をはじめ、これまでに献血にご協力下さった皆様、本当にありがとうございます。